



「川のせせらぎを感じながら、この地を眺めています」
cafe eight songs (カフェ エイトソングス)
さんがよく通っている道から望める木曾川。「天気や風の吹き具合で日々さまざまな表情を魅せてくれる」のを密かな楽しみにしながら、自然の中の暮らしを過ごされているのだそう。



伊岐津志2541-1 gallery cafe kodemari
ギャラリーカフェ コデマリ

kodeinari (コデマリ)さんから「近くの神明神社から山沿いに続く道を上がって、むかし旅館があったあたり」と教わった場所から望める木曾川と八百津は、期待通りの気持ちよさでした。

すこし山に上がれば
木曾川と八百津のいい景色が。



伊岐津志ってどんなところかな
お店を営む方々に聞きながら、感じたこと。

木曾川のせせらぎと山々に囲まれ、ゆったりした自然のなかで時間が緩やかに流れている。かつて名鉄の終着駅があり、いまでも名古屋方面からのアプローチも良い。長く地元で愛されてきたお店と新しいカフェが共存している。昔ながらの人の温かみも感じられ、子育てにもいい「ほどよい田舎」の魅力に共感する若い世代も多いようです。

八百津町では農作物が減農、無農薬で栽培されることが多く、伊岐津志でも「なる農園」「inBox 農園」をはじめ、若手農業者が増えています。また、その農作物が多く使われています。

instagramで発信をしています。
inBox農園 @inbox.agrisports
なる農園 @narunouen



カフェのお客さまは可見市や美濃加茂市からが多いそう。

古民家カフェ Bisous こみんかカフェ ビズ 伊岐津志2539-1



表通りから一步入ったお店のまわりは確かに静か。背後をゆったり流れる木曾川の気配を感じるカフェを営まれている子育てで世代のBisous (ビズ)さんご夫婦は、岐阜市からの移住。ふたりにとって伊岐津志は「自然も多いけれど住みやすいところ」だ。休日に散歩をすれば「近所の子供が出てくる。おばあちゃんからは野菜もらったり、世間話が始まったり」そんなお話を楽しそうにされるのが印象的で、地域ぐるみの子育てって本当にできるんだ、と思いました。

自然を感じ、近所のひとたちと触れあひながらの散歩ができる場所。